

『空だって』 作：ポチ子

『空だって』 作…ポチ子

大空を羽ばたく鳥に、

私たちは憧れがち。

でも空だって、

大したことはない。

鳥たちは、

自由に見える空を飛ばずに、

地面をよちよち歩く。

それは空より地上の方が自由だと、

鳥たちが憧れたからかもしれない。

それでもやっぱり、

不器用に地上を歩くより、

空を飛んでいた方が幸せなように思える。

たぶん私たちも、

空を無理して飛ぶより、

地面を踏みしめ歩く方が幸せなのだ。

憧れたのは、

幸せになりたかったから。

それを忘れて、

空を飛ぶなんて。